

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 住友ベークライト株式会社
 コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理企画本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

(氏名) 小川 富太郎
 (氏名) 寺島 郁朗

TEL 03-5462-3452

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	125,400	△28.7	3,018	△47.3	3,805	△51.5	△15	—
21年3月期第3四半期	175,992	—	5,728	—	7,844	—	3,000	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△0.07	—
21年3月期第3四半期	11.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	207,511	123,682	59.0	508.51
21年3月期	215,852	125,604	57.7	516.97

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 122,528百万円 21年3月期 124,573百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△20.0	4,600	—	5,600	—	800	—	3.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	262,952,394株	21年3月期	262,952,394株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	21,999,343株	21年3月期	21,984,123株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	240,960,549株	21年3月期第3四半期	251,204,598株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の「3. 平成22年3月期の連結業績予想」は、作成時点において当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によりこれらの予想と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

単位：億円	前期				当期				当通期予想 11月6日公表値
	1 Q	2 Q	3 Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	累計	
売上高	598	602	561	1,760	361	428	465	1,254	1,700
営業利益	31	20	5	57	-15	16	29	30	46
経常利益	39	26	13	78	-13	19	32	38	56
四半期純利益	14	13	3	30	-14	-8	22	-0	8

当第3四半期累計期間の世界経済は、一昨年秋の急激な経済危機に対して各国が金融・財政政策を協調して実施したことにより最悪期を脱したものの、先行きの不透明感が払拭できない状況が続きました。国内経済も、輸出の緩やかな回復と家電や自動車に対する政府の景気浮揚策から下げ止まりの兆候がみられましたが、設備投資の大幅な減少や雇用情勢の悪化が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻くグローバルな経済環境につきましては、半導体は在庫調整が一巡し、ネットブックやスマートフォンの好調に支えられ、緩やかな回復基調に入りました。

自動車は、世界各国で急激な需要減少の後、欧米や日本の買い替え促進策により減少に歯止めがかかったことと、中国などの新興国の需要増加により、持ち直しの動きがでてきました。

一方、国内環境では、携帯電話は買い替え需要が少なく低迷し、住宅着工件数も大幅な減少が続きました。

当社グループは、このような急激な経営環境悪化の中で実需に見合った生産販売体制への移行と全面的なコストの削減を行うと共に、選択と集中を徹底して事業の構造改革の促進を行ってきました。

この結果、上表のように第3四半期累計の業績は、第1四半期が在外子会社の1月～3月の業績を反映し極めて低調であったこともあり、売上高は1,254億円(前年同期比28.7%の減少)となり、営業利益は30億18百万円(同47.3%の減少)、経常利益は38億5百万円(同51.5%の減少)となりました。四半期純損益につきましては、前年度に引き続く更なるリストラ実施のための事業再建関連費用19億36百万円や、一部銘柄の株価下落による投資有価証券評価損8億73百万円などを特別損失に計上したことで、15百万円の四半期純損失となりました。

尚、第3四半期累計の業績は前年同期の水準まで回復しなかったものの、売上高は四半期を追う毎に市況の回復などから増加し、利益については固定費を中心とする大幅なコスト削減により確実に黒字確保ができるところまで改善が進み、平成21年11月6日付公表の業績予想に沿った水準で推移しました。

事業の種類別販売状況（対前年同期比較）

①「半導体・表示体材料」部門

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウェハーコート用樹脂、半導体実装用キャリアテープは、第1四半期の低迷が響き、売上高は減少しました。足元では、前年度後半の急激な在庫調整が終了したことで生産の持ち直しが進み、当期は四半期を追う毎に業績の回復が顕著に進みました。

②「回路製品」部門

フレキシブル・プリント回路は、携帯電話やデジタル家電等の需要の減少から、売上高は減少しました。尚、生産拠点をベトナムに完全集約すべく、秋田での生産終了に向けての諸施策を実施してきました。

エポキシ樹脂銅張積層板およびフェノール樹脂銅張積層板は、車載用途の持ち直しなどから業績の回復が進みました。

③「高機能プラスチック」部門

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂および成形品は、各国の自動車関連市場における期前半の急激な冷え込みから、売上高は減少しました。しかしながら、足元ではアジアにおいては自動車業界が緩やかに持ち直し、ヨーロッパではタイヤと断熱材が伸張し、業績の改善が進みました。また、米国においては生産拠点の統廃合を行い事業の構造改革を進めました。

④「クオリティオブライフ関連製品」部門

医療機器製品は、イディアルボタンなどが順調に増加し、売上高は若干増加しました。本年度6月には新製品として内視鏡処置具のSBナイフを上市しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医療用途が堅調に増加し、エレクトロニクス用途も回復が進みました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、メラミン樹脂化粧板・不燃板などのプレート・デコラ事業は、住宅関連の需要の減少や企業の設備投資の減少などから売上高は減少しました。

防水関連事業は、リフォーム分野で積極的な拡販を推進しましたが、新築分野の市場回復が遅れ、売上高は若干減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ83億41百万円減少し、2,075億11百万円となりました。

これは主に、受取手形および売掛金が82億49百万円増加した一方で、商業・ペーパーの減額や配当金の支払等により現金および預金が110億6百万円減少したことおよびたな卸資産が43億97百万円減少したことによるものであります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ64億20百万円減少し、838億28百万円となりました。

これは主に、支払手形および買掛金が43億40百万円増加した一方で、商業・ペーパーを65億円減額したことによるものであります。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億22百万円減少し、1,236億82百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が16億57百万円増加した一方で、配当金の支払30億12百万円などの減少要因があったことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金および現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ98億46百万円減少し、291億35百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は65億24百万円となりました。これは主に、売上債権の増加による支出と、減価償却費の計上、たな卸資産の圧縮および仕入債務の増加による収入の結果であります。前年同期と比べると58億90百万円の収入の減少となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は53億20百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の結果であります。前年同期と比べると49億27百万円の支出の減少となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は106億6百万円となりました。これは主に、商業・ペーパーの減額と配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると5億15百万円の支出の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,496	40,502
受取手形及び売掛金	44,860	36,611
商品及び製品	7,923	10,271
半製品	2,116	2,168
仕掛品	988	938
原材料及び貯蔵品	7,941	9,988
その他	5,547	5,734
貸倒引当金	△415	△412
流動資産合計	98,458	105,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,149	33,292
機械装置及び運搬具（純額）	28,029	28,497
その他（純額）	17,723	18,982
有形固定資産合計	78,901	80,773
無形固定資産		
のれん	6,059	6,324
その他	1,432	1,597
無形固定資産合計	7,492	7,921
投資その他の資産	22,658	21,354
固定資産合計	109,052	110,049
資産合計	207,511	215,852

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,450	24,110
短期借入金	6,246	6,319
コマーシャル・ペーパー	5,000	11,500
未払法人税等	839	870
賞与引当金	1,192	2,145
その他	11,029	11,409
流動負債合計	52,758	56,354
固定負債		
長期借入金	14,452	14,902
退職給付引当金	10,458	11,163
事業再建費用引当金	1,553	2,192
その他の引当金	469	1,365
負ののれん	1,839	2,464
その他	2,295	1,804
固定負債合計	31,070	33,894
負債合計	83,828	90,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	72,667	76,187
自己株式	△11,914	△11,907
株主資本合計	133,254	136,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,512	△145
為替換算調整勘定	△12,238	△12,062
評価・換算差額等合計	△10,726	△12,207
少数株主持分	1,154	1,030
純資産合計	123,682	125,604
負債純資産合計	207,511	215,852

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	175,992	125,400
売上原価	133,008	90,636
売上総利益	42,983	34,763
販売費及び一般管理費	37,255	31,745
営業利益	5,728	3,018
営業外収益		
受取利息	543	90
受取配当金	449	316
負ののれん償却額	1,037	625
持分法による投資利益	—	139
雑収入	911	353
営業外収益合計	2,941	1,523
営業外費用		
支払利息	328	343
持分法による投資損失	10	—
為替差損	—	42
雑損失	485	350
営業外費用合計	825	737
経常利益	7,844	3,805
特別利益		
固定資産売却益	396	26
投資有価証券売却益	43	0
関係会社株式売却益	—	197
特別利益合計	439	224
特別損失		
固定資産除売却損	402	401
投資有価証券評価損	2,377	873
関係会社株式評価損	1,705	—
事業整理損	—	144
事業再建関連費用	965	1,936
解決金等	—	596
減損損失	81	122
過年度損益修正損	—	128
適格退職年金過去勤務費用	757	—
たな卸資産評価損	730	—
その他	24	1
特別損失合計	7,045	4,204
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,238	△175
法人税、住民税及び事業税	1,176	1,212
法人税等調整額	△2,865	△1,459
法人税等合計	△1,689	△247
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△72	88
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,000	△15

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,238	△175
減価償却費	9,836	8,964
減損損失	81	122
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,183	△514
固定資産除売却損益(△は益)	6	374
受取利息及び受取配当金	△992	△406
支払利息	328	343
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	—
投資有価証券評価損益(△は益)	2,377	873
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△197
関係会社株式評価損	1,705	—
売上債権の増減額(△は増加)	230	△8,510
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,431	4,399
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,091	△1,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,048	4,466
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,074	△847
その他	△560	△588
小計	12,794	6,875
利息及び配当金の受取額	1,013	404
利息の支払額	△306	△278
法人税等の支払額	△1,087	△477
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,414	6,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,078	△6,756
有形固定資産の売却による収入	481	516
投資有価証券の取得による支出	△38	△39
投資有価証券の売却による収入	52	—
長期貸付けによる支出	△333	△697
その他	△331	1,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,247	△5,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△605	△630
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	3,000	△6,500
配当金の支払額	△3,813	△3,012
少数株主への配当金の支払額	△226	△1
自己株式の取得による支出	△8,022	△7
その他	△423	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,091	△10,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,109	93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,034	△9,309
現金及び現金同等物の期首残高	43,378	38,981
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△535
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,343	29,135

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	半導体・ 表示体材 料	回路製品	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	42,325	26,588	55,972	50,454	651	175,992		175,992
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高			397	352		750	(750)	
計	42,325	26,588	56,370	50,806	651	176,742	(750)	175,992
営業利益又は 営業損失()	6,301	2,019	2,692	2,395	53	9,424	(3,696)	5,728

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	半導体・ 表示体材 料	回路製品	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,298	13,700	36,338	42,609	452	125,400		125,400
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高			214	301		515	(515)	
計	32,298	13,700	36,552	42,911	452	125,915	(515)	125,400
営業利益又は 営業損失()	4,170	1,710	1,890	1,725	48	6,028	(3,009)	3,018

(注) 1 事業区分は、製品の市場における主要用途、事業の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主要な製品および役務の内容

(1) 半導体・表示体材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウェハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体実装用キャリアテープ、半導体チップ接着用テープ

(2) 回路製品

フレキシブル・プリント回路、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板

(3) 高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、精密成形品

(4) クオリティオプライフ関連製品

医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・不燃板、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、水処理関連製品、防水工事の設計ならびに施工請負

(5) その他

試験研究の受託、土地の賃貸等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	欧州その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	92,852	53,597	13,086	16,455	175,992		175,992
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,367	7,585	516	2	17,471	(17,471)	
計	102,219	61,183	13,602	16,458	193,464	(17,471)	175,992
営業利益又は 営業損失()	3,530	5,362	554	789	9,127	(3,399)	5,728

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	欧州その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	77,728	31,241	7,535	8,894	125,400		125,400
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,481	4,966	212	9	12,669	(12,669)	
計	85,210	36,207	7,748	8,903	138,070	(12,669)	125,400
営業利益又は 営業損失()	3,613	2,730	433	25	5,884	(2,866)	3,018

(注) 1 国又は地域の区分は、概ね地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナム、タイ

(2) 北米.....米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域.....ベルギー、スペイン

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	アジア	北米	欧州その他の地域	合計
海外売上高	62,981	13,196	15,477	91,655
連結売上高				175,992
海外売上高の連結売上高に占める割合	35.8%	7.5%	8.8%	52.1%

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	アジア	北米	欧州その他の地域	合計
海外売上高	42,899	7,640	8,428	58,967
連結売上高				125,400
海外売上高の連結売上高に占める割合	34.2%	6.1%	6.7%	47.0%

(注) 1 国又は地域の区分は、概ね地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、韓国、タイ

(2) 北米.....米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域.....ベルギー、スペイン

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。